

～空き家・空き地（ストック）を活用した生活利便サービス拠点整備～

1.イメージ

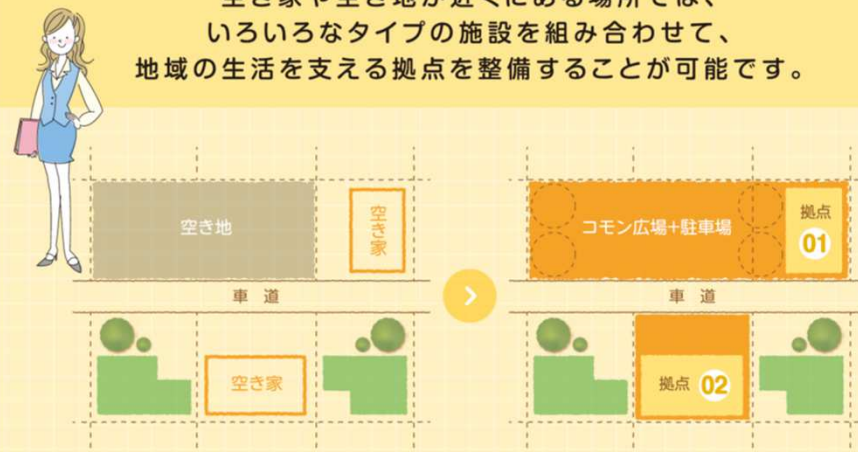
良好な戸建てエリアの住環境を保全しながら
地域の魅力と利便性を高める

（シェアオフィス、
食の提供、地域福祉の拠点など）

→ **居住の安心の提供、地域価値の向上**

空き家・空き地の活用による サービス拠点づくりのイメージ

空き家や空き地が近くにある場所では、
いろいろなタイプの施設を組み合わせ、
地域の生活を支える拠点を整備することが可能です。



複合施設タイプ

01
空き家を活用して、近隣への食事提供サービス(惣菜・半調理品の販売、イートイン)を核として、シェアオフィス(テレワーカー、シニア、主婦など)、宅配ボックス、無人コンビニ等の機能を導入した多機能な拠点施設を導入するイメージです。

This section provides a detailed look at a composite facility. It includes floor plans for the 1st and 2nd floors, showing areas for shared offices, dining, and storage. Testimonials from a local business owner (A-san) and a real estate agent (B-san) highlight the convenience and health benefits of having such a facility nearby.

単独施設タイプ

02
空き家を活用して、民間学童、デイサービス、ナーシングホームなどの子育て世帯、高齢者へのサービス施設を導入するイメージです。拠点①から食事サービスの提供を受けることもできます。

This section focuses on single facilities. It features photos and testimonials from a private day care center (C-san) and a nursing home (D-san), demonstrating how vacant houses can be repurposed to support vulnerable populations. A caregiver (E-san) also shares how such facilities can be integrated into existing services.

2.令和4年度の取組

空き家活用

【単独施設タイプの実現】

- 藤山台空き家物件(1件)
- ・福祉サービス事業者とのマッチングに成功
- ・賃貸借契約締結
(所有者、高蔵寺まちづくり(株)、福祉事業者)

→R4年5月より開所
(福祉サービス提供中)



空き地活用

【低未利用地を活用した食サービス提供実験】

- 空き地/駐車場などの低未利用地を活用したキッチンカーによる身近な食サービス提供の実証実験
- ⇒外出機会の創出や生活利便性の向上を図る

〈実績〉

→延べ33回出店(延べ参加キッチンカー58台)を実施
(R4.4-12 グルッポふじとう北部駐車場の9か月実績)

→さらに実験場所2か所増加(R4.7～ 高森台1丁目住宅地内
R4.11～ 岩成台「川とく」駐車場)

〈利用者の声〉

「近所で食事の選択肢が増やせて嬉しい」
「店主や常連と話せて楽しい」「普段から行きやすい場所にあるのが嬉しい」

⇒利便性向上と交流機会の創出の両面に効果



3.今後の課題と展望

空き家活用

- 物 件：相談件数が少ない
- 事業者：用途地域に適さないニーズへの対応が課題
- ⇒モデル事業を通じた空き家活用の普及啓発とノウハウ蓄積を引き続き実施

空き地活用

- 住宅地内での食サービス提供の出店は、ニーズが高いものの、徒歩圏内の利用者だけでは出店の継続が困難
- ⇒住宅地に近い店舗敷地の一部を利用することで利用者ニーズと売上の双方の成立を目指す
- ⇒空き地活用の実証実験を継続しながらキッチンカー事業者と連携強化を図る